

毛利匡広書状

製作年・時代

(享保5年)8月21日

解説

長府藩6代藩主の毛利匡広から口羽伊右衛門へ宛てたもの。

この度の「増高」(長府藩に藩領が全面還付されたこと)に対し、口羽伊右衛門が青蛙200疋を贈ったことへの御礼。

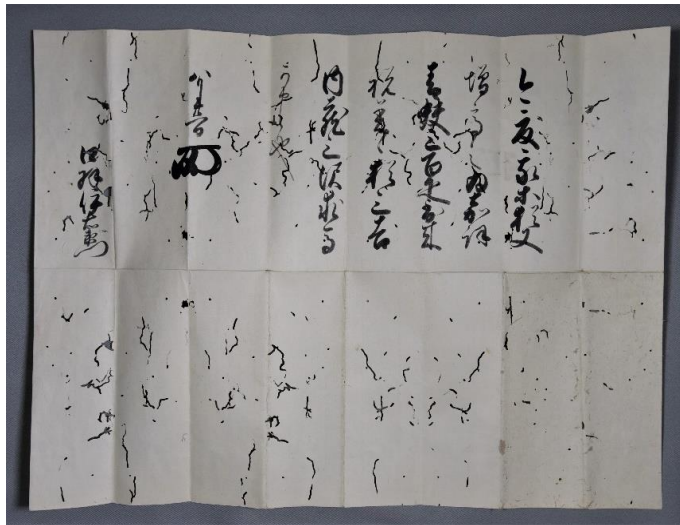
【背景】

享保3年3月、5代藩主毛利元矩が早世し、長府藩が断絶。領地は萩藩へ移る。

同年4月、萩藩5代藩主毛利吉元の働きかけによって藩領が一部還付され、長府復帰が決定。これに伴い清末藩2代藩主毛利元平が長府藩6代藩主となる。

享保5年3月、長府藩の再三にわたる要請により、残りの藩領も還付された。

画像



参考文献

『下関市史 藩制一市制施行』(下関市、平成21年)

備考